

平成26年度

第30回

京都

まちとみどり

写真コンクール入選作品集



京都まちとみどり写真コンクール

緑は、大気の浄化、気温の調節など良好な環境づくりに大切な役割を果たしているほか、潤いのある生活環境の確保、レクリエーションの場の提供など多くの役割を担っており、安全で快適な都市環境の形成に欠くことのできないものです。

このような緑の重要性と都市緑化の必要性に対する理解を深めるために、10月の「都市緑化月間」を中心に、全国各地で緑と公園に関する様々な行事を行っております。

この「都市緑化月間」の行事の一つとして、「まちの水と緑」、「まちの緑と公園」、「緑とのふれあい」など都市緑化をテーマとした京都府内の写真を募集し、「第30回京都まちとみどり写真コンクール」を行いました。今回は特別賞として「京田辺市長賞」を設け、541点の応募作品の中から入選作品40点を選びました。

主催：京都府都市計画協会

共催：京都府

京都市

(公財)京都府公園公社

(公財)京都市都市緑化協会

(一社)京都造園建設業協会

第30回 京都 まちとみどり

写真コンクール 入賞・入選作品一覧

賞	題名	氏名
京都府知事賞	散歩道	水野 利彦
京都市市長賞	波紋	酒本 光雄
特別賞(京田辺市長賞)	親孝行	宇都宮多恵
(公財)京都府公園公社理事長賞	水とみどりと太陽を浴びて!!	辻 俊策
(公財)京都市都市緑化協会理事長賞	記念撮影	木越 俊雄
(一社)京都造園建設業協会会長賞	絆を育む沢飛びの石	中村 敏明
京都府市長会会長賞	雨あがりの散歩道	谷 八紘
京都府町村会会長賞	茶摘み	城田 祥男
京都新聞賞	しあわせ家族	三宅 憲二
KBS京都賞	いつも二人で	角田 剛彦
エフエム京都賞	水路閣紅葉	向井 章二
NHK京都放送局賞	秋を求めて	芝原 康夫
奨励賞	Kyotanabe city sunset	馬場 建
優秀賞	ドレミのうた	小倉 正紀
	桜満開 花見船	西谷 喜徳
佳作	芝生でかけっこ	山下 文行
	夏のラジオ体操	石束 武司
	夏の宵	井上 敏和
	茶の郷 繁忙期	奥村 博己
	自然との語り	片山 智士
	落ち葉の森を踏みしめて	木下 正治
	赤と緑のコントラスト	小巻 真司
	虚空蔵谷川の滝	柴家 碧
	緑と川と子供達	谷 泰雄
	思い出づくり	谷口 敏子
	咲き誇る	永井眞知子
	新緑の下をくぐって行こう	中山 晃一
	雪の御苑を楽しむ	西村 武
	新緑に包まれて	長谷川 悟
	金魚つかみ	服部 義信
	十石船の休日	原田 正士
	新緑のころ	平田 良夫
	桜の下でお弁当	福島 一芳
	観雪橋	正木 良忠
	楽しい朝	松吉 要造
	古都の夏	三浦征志浪
	町かどの紫陽花	宮崎 松夫
	スイートリレーマラソンゴール目指してヨーイドン	安井 克典
	山吹の小路	安原 忠敬
	すべりそう!!	山田 博史

(敬称略)

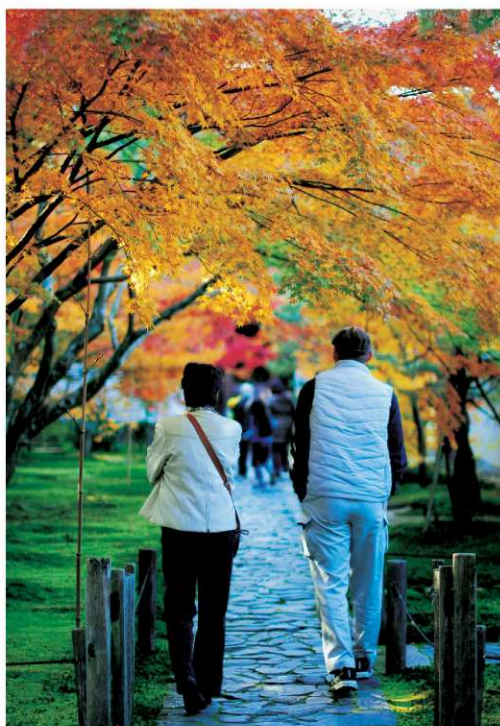


「散歩道」水野 利彦
興聖寺付近観流橋(宇治市)



「波紋」酒本 光雄
岡崎 疏水(京都市左京区)

特別賞(京田辺市長賞)



「親孝行」宇都宮 多恵
一休寺(京田辺市)

(公財)京都府公園公社理事長賞



「水とみどりと太陽を浴びて!!」辻 俊策
太陽が丘(宇治市)

(公財)京都市都市緑化協会理事長賞



「記念撮影」木越 俊雄
京都市右京区

(一社)京都造園建設業協会会長賞



「絆を育む沢飛びの石」中村 敏明
けいはんな記念公園(相楽郡精華町)

京都府市長会会長賞



「雨あがりの散歩道」谷 八紘
背割堤(八幡市)

京都府町村会会長賞



「茶摘み」城田 祥男
立川小字谷(綴喜郡宇治田原町)

京都新聞賞



「しあわせ家族」三宅 憲二
舞鶴自然文化園(舞鶴市)

KBS京都賞



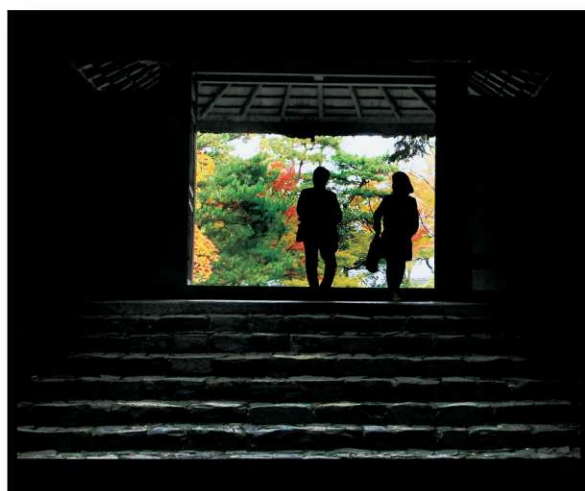
「いつも二人で」角田 剛彦
夢コスモス園(亀岡市)

エフエム京都賞



「水路閣紅葉」向井 章二
南禅寺(京都市左京区)

NHK京都放送局賞



「秋を求めて」芝原 康夫
法然院(京都市左京区)

奨励賞



「Kyotanabe city sunset」馬場 建
興戸駅付近(京田辺市)

優秀賞



「ドレミのうた」小倉 正紀
舞鶴自然文化園(舞鶴市)



「桜満開 花見船」西谷 喜徳
岡崎 疏水(京都市左京区)



「芝生でかけっこ」山下 文行
亀岡運動公園(亀岡市)

佳 作



「夏のラジオ体操」石束 武司
河原(京田辺市)



「夏の宵」井上 敏和
京口(宮津市)



「茶の郷 繁忙期」奥村 博己
湯屋(綴喜郡宇治田原町)



「自然との語らい」片山 智士
八瀬(京都市左京区)



「落ち葉の森を踏みしめて」
木下 正治
下鴨神社(京都市左京区)

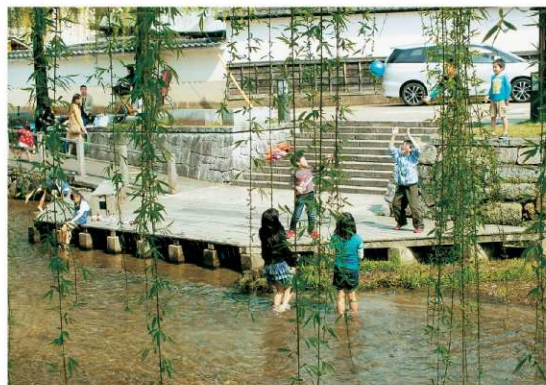


「赤と緑のコントラスト」
小巻 真司
長岡天満宮(長岡京市)

佳 作



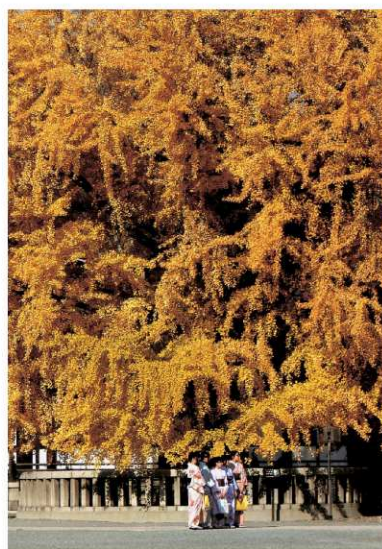
「虚空蔵谷川の滝」柴家 碧
大住(京田辺市)



「緑と川と子供達」谷 泰雄
白川(京都市東山区)



「咲き誇る」永井 眞知子
太陽が丘(宇治市)



「思い出づくり」谷口 敏子
西本願寺(京都市下京区)



「新緑の下をくぐって行こう」
中山 晃一
梅小路公園(京都市下京区)



「雪の御苑を楽しむ」西村 武
京都御苑(京都市上京区)

佳 作



「新緑に包まれて」長谷川 悟
下鴨神社(京都市左京区)



「金魚つかみ」服部 義信
防賀川緑道(京田辺市)



「十石船の休日」原田 正士
南浜町(京都市伏見区)



「新緑のころ」平田 良夫
白川(京都市東山区)



「桜の下でお弁当」福島 一芳
玉川の桜まつり(綴喜郡井手町)

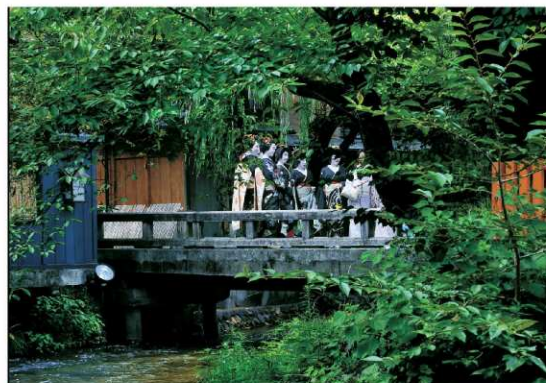


「観雪橋」正木 良忠
けいはんな記念公園(相楽郡精華町)

佳 作



「楽しい朝」松吉 要造
京都市左京区



「古都の夏」三浦 征志浪
巽橋(京都市東山区)



「町かどの紫陽花」宮崎 松夫
油小路通(京都市中京区)



「スイートリレーマラソン
ゴール目指してヨーイドン」
安井 克典
太陽が丘(宇治市)



「山吹の小路」安原 忠敬
玉川沿い(綴喜郡井手町)



「すべりそう!!」山田 博史
一休寺(京田辺市)

第30回 京都まちとみどり写真コンクール講評

審査委員長 井上 博義(京都写真家協会)

総評

応募作品総数が541点、応募者数は178名(最年少13歳、最高齢94歳)の多くの方々から寄せられました。これらの作品には、水と戯れる子供たち、緑に囲まれた華燭の二人、草木の花や樹木の色付きに憩う人々、緑豊く公園で寛ぐ友達や家族、桜花散華に歓喜のショット等々。移ろう四季の彩りに陶醉する人々と紡がれた様々な情景を捉えた素晴らしい写真群に、選考委員を悩ませる選考となりました。しかし残念ながら、これ等の多くの作品の中に、甘ピン、テーマ外、過剰調整など、特に今回、府内を題材にされながら極彩色の写真数十点が選外となりました。これらは恐らく御自身のパソコンやプリンターで加工され、独自の色合いで誇張プリントをされて居られるものと思われる。自然を題材とした写真コンクールでは、極彩色調の作品は必然的に選外となりますのでご注意ください。故に一言アドバイス『四季を織り成す彩色を今一度、ジックリと見定めて下さい』。

1 京都府知事賞 「散歩道」

秋意漂う爽やかな朝の一コマ、作者のコメントに『早朝の光芒狙い』との事。画面左の上部には朝霧が棚引き光芒の斜光が綺麗に射し、作者の想いどおりに捉えられている。下部には橋の欄干の朱色が、作品を見る者の視線を上手く女性へ誘導する動きをして決して邪魔をしていない。むしろ画面を引き締める役目を担っている。画面中央右には淡く色付いた樹木を記し、木々間から覗く宇治川の川面に人の頭を、そして路面に照る僅かな光に体が上手くはまり、さり気無く配置されて良い。清々しい空気感の有る素晴らしい写真です。

2 京都市長賞 「波紋」

疏水の周囲に桜花爛漫の桜が咲き誇り、桜の幹がほぼ斜めに画面左上から上半分を流れるように占めている。しかも奥の建物を上手く桜並木で隠されている。下半分は青空を映す水面に散り初めの花筏が、緩やかな蒼の流れに列を成して流れ下っている。この流れに舟遊びの舟がゆっくりと行き交い、等間隔にうねる綺麗な模様の波紋を描きながら水を切り進む。何れの舟に憩う人達もこの春の情景に陶醉され、時間の移ろいを忘れてはいるのでは。上手く構成されたすばらしい写真です。

3 特別賞(京田辺市長賞) 「親孝行」

楓葉三色が機を織るように綺麗に入り混じり、まさに晴の衣装の裾模様を見るが如しです。また参道の敷石に目を向けると頭上の競漕を鈍い輝きで照り返している様子は得も言われぬ美しさです。また側面の杉苔の緑との対比が実に素晴らしいです。少し前を行くお二人は作者のご両親でしょうか?お二人の背中からこの場を彩る錦秋の感動に浸る会話が聞き取れそうな姿を捉えられているのが良いです。ただ、画面下部が詰まり過ぎ、もう少し距離をとって敷石と両脇の苔を入れ、余裕のある作品に仕上げられればと思います。

4 (公財) 京都府公園公社理事長賞 「水とみどりと太陽を浴びて!!」

ここは山間の水場。オゾンが満ち満ちた自然環境のなか、緑豊かな森に抱かれ、芝生の敷かれた広場の水辺を、簡易テントとパラソルが所狭しと取囲んでいる。各々の家族が思い思いに夏休みのひと時を楽しんでいる光景は夏真っ盛り。この場の子供たちの歓喜が木霊し、下界の喧騒と変わらない賑わいを呈している様子が面白い。日暮れ時にはこの場所が野鳥の水浴びや水飲み場となり、人々と変わって鳥たちが賑わいを見せてくれるのではないのでしょうか。

5 (公財) 京都市都市緑化協会理事長賞 「記念撮影」

四季折々の風物の一つ、ユニークな案山子達が愛嬌を振りまき、頭を垂れる稲穂の収穫を終えるまで、実りの秋の見守り隊となって一役を担っている。写真の人物も心躍る風景に興奮気味にカメラに収められている様子が、より一層見る者をも楽しませてくれている。この長閑かな田園風景は何時までも大事に残し続けたい風景ショットですね。収穫を終えた田圃を彼岸花で美しく画面を整えられた綺麗な写真です。但し、長閑かな田園の風景感を出す意味から、もう少し青空と左を入れた広がりが見られます。

6 (一社) 京都造園建設業協会賞 「絆を育む沢飛びの石」

周囲の樹木の緑を水面に映した見事なエメラルドグリーンに小波立つ池と、池畔に弧を描いた植え込みの山吹色の配色に暫し目を奪われてしまいます。ややあって、下に目をやると、緩やかに流れ落ちる清水に飛び石を敷いた遊歩道が施されている。ここに、男児がお母さんの手を取ってエスコートしながら渡る様子を、先行したお父さんが頼もしそうに見守っている姿がある。この空気感の澄み切ったオープンセットでの展開は、正にタイトルの如く微笑ましい家族の絆の情景が……。素晴らしい写真となっています。

7 京都市市長会会長賞 「雨あがりの散歩道」

大胆に遊歩道を掘えられたのが見る人の目を強烈に引き付けている。綺麗な緑に整備された簡易ベンチや朱文字の看板などの備品が、何れ一つとして主張すること無く画面構成の一部を成している。対して、ユニークに蛇行する遊歩道半ばで、立ち止まっている赤い服とカバンのご婦人と犬との対話のポーズが際立って素晴らしい効果を発揮している。そして上部のシャドウのグラデーションが美しく画面を締めているのが良い。作者のコメントによれば前夜に大雨が降ったとの事。透き通った空気感の写真は雨後撮影の成果です。

8 京都府町村会長賞 「茶摘み」

緑豊かな樹木に囲まれた茶畑での茶摘体験、園児達には良い経験になるでしょう。茶葉芽は正に艶やかな新芽で摘みごろです。女児達は手っ甲に手拭いの頬つべり、茜擲に紺紺の野良着を身にまとい、楽しく上手に摘み取れた事と思います。ご当地のマスコットキャラクターと楽しい会話で女児の嬉々と喜び笑顔が非常に良いです。笑い声までがこの一コマに収まっている様で素晴らしいです。この写真から自然に童謡唱歌「茶摘み」のメロディーを口ずさむのは私だけでしょうか?

9 京都新聞賞 「しあわせ家族」

家族の背景が雨後の深緑の水平線で、被写体として文句の無い環境の整ったロケーションです。ここで見る二人の子供さんが主役?いえ、実は赤と青の雨傘を手にして2人をあやすお母さんが主役。子供さん達は準主役、そして微笑ながら携帯で撮るお父さんが脇役です。良い雰囲気の写真です。

10 KBS京都賞 「いつも二人で」

朝顔が隙間なく見事なトンネルを生成したこの場合は、強い日差しを遮る真夏のシェルターです。ここで憩う人達にとっては楽園そのものです。単調に成りがちな画面をアーチをほぼ中央に捉え、やや右に緩やかに歩む二人にピントを合わせ配して、シェルターの大きさと奥行きと草花の色のリズムで旨く補っている。

11 エフエム京都賞 「水路閣紅葉」

画面左の3方から、僅かに覗く黄色もみじの枝葉の向こうに、迫り来るマンモスの様なアーチ型の橋脚の迫力感は凄い。その足元右側に引率の先生らしき方が、学童に水路閣の説明をされている様な仕種がある。この先生の僅かな動きが写真に動感を生み出して良い。仕上げはやはり深紅の紅葉、素晴らしいです。

12 NHK京都放送局賞 「秋を求めて」

山門を完全に中央に来るように三脚セットで撮影されたようです。もしハンドショットなら脱帽です。男女のシルエットはさて置き、シャドウ部の光る石段も然る事ながら茅葺屋根の庇裏の垂木仕様が非常に綺麗な画像で仕上がっています。唯、人物奥の植え込みの調子は硬調過ぎました。軟調に。

13 奨励賞 [Kyotanabe City Sunset]

日没の夕日に感動されて花を狙い、花を大きく捉え花芯が太陽の逆光を受けて良く輝いています。この状況での作画意図は大変素晴らしいです。しかしこのカットでは花の5-6割の輪郭が欲しいところです。それにはカメラのポジション移動が望まれる訳です。秋の夕日は釣瓶落とし、僅かな時間での勝負です。

14 優秀賞 「ドレミのうた」

コメントに映画「サウンド オブ ミュージック」の感じとされています。正に映画館のワイドスクリーンに投映されたワンシーンです。カメラをもう少し引き、画面上にアルプスの山々をはめ込みたいですね。先生と園児との間に音符が舞っている様で素晴らしい写真です。

15 優秀賞 「桜満開 花見船」

桜花爛漫での花見。緩やかに流れる疏水に植わる夫々の桜が、枝一杯に花を咲かせた華やかなトンネルです。そよ吹く風に阻る波、流れに進む十石舟の残す小波、ここでの時の移ろいはゆったりと刻まれて通り過ぎて行きます。長閑かな風景を醸し出され、都会の喧騒を微塵も感じさせない綺麗な写真です。

16 優秀賞 「芝生でかけこ」

常緑樹や落葉樹が茂る公園の中に在る池を、真ん中いっぱい配され画面の安定感を出されている。木々に透き通る爽やかな青空に秋の雲が棚引き、池には木立などが映り、絵画に見る暮秋の風景がある。一見単調な画面の様に思えるが、芝生の落ち葉を踏み駆ける元気な子供達により動感のある写真に仕上げられている。

★初心者の方へ★

写真を人生のパートナーとして気長に楽しめる事をお勧めします。被写体は無理です。決して無理をされずご自分の好みを求めて、マイペースを身に行脚されます様に。ここから必然的に視野が広がっていきます。そして回を重ねる毎に視覚が向上し楽しさが倍増して行くのが分かります。楽しんで下さい。

ひろげよう
育てよう
みどりの都市



主催 京都府都市計画協会
共催 京都府
京都市
(公財)京都府公園公社
(公財)京都市都市緑化協会
(一社)京都造園建設業協会

後援 京都市長会
京都府町村会
京都新聞社
KBS 京都
エフエム京都
NHK 京都放送局

協賛 京都府造園組合連合会
(一社)日本造園建設業協会京都府支部
(一財)日本造園修景協会京都府支部
京都写真家協会
(順不同)

第30回京都まちとみどり写真コンクール入選作品集
平成26年11月発行
発行・編集／京都府都市計画協会
(公財)京都市都市緑化協会
印刷／株式会社廣済堂

